

渡辺議員（広志会）

令和3年2月22日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）県立高等学校の再編整備に係る今後の方針について

今回のような、議論の余地すら与えない一方的なやり方で、将来に、禍根を残し、前例を作るべきでない。

今後も、廃校にする際は、今回と同じようなやり方で進めるつもりなのか、教育長に伺う。

（答）

この度の両校の募集停止につきましては、関係市町教育委員会と毎年度の入学定員の策定時などに、生徒数の動向等について必要な連携を図ってきたところであり、この度の決定につきましても、学校が所在する市の教育委員会に事前に説明を行っております。

また、学校関係者への説明につきましては、まだ検討中の段階で説明することで、確定していない情報が出回り、生徒・保護者や地元関係者に対して無用な不安を掻き立てることを避けたいという思いから、事務局内で具体的な方針を固めた後、直ちにお伝えしたところでございます。

また、公表時期につきましては、中学生が志望校を決定する前に公表すべきと考え、1月中旬に公表したものであり、これは、前回、平成22年度に白木高等学校及び大和高等学校の募集停止を行った際の公表時期よりも7か月早めたものでございます。

こうした考えのもと、今回は先程申し上げたような進め方を行ったところでございます。

今後の再編整備の実施に当たりましては、学校が置かれている環境や取り巻く状況が異なることを踏まえ、対応してまいりたいと考えております。